

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	47 新型コロナ拡大防止事業(図書館)												
事業担当	所属	60050000 教育委員会 図書館				所属長	山路 智子						
会計情報	事業コード	630347	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 図書館費	会計	01 一般会計	決算付属資料		頁
施策体系	施策コード	020102	施策名	図書館活動を充実させる									
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針、図書館における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R3現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	中央館運営事業、分館運営事業(三和、夜久野、大江)												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	新型コロナウイルスとの共存、新しい生活様式といわれる中でも、多くの市民が訪れ居場所となっている図書館。市民の暮らしの中で、その存在はより大きくなっている。市民の豊かな生活を守り、より安心・安全に利用いただくために、さまざまな感染症拡大予防対策を実施し環境を整備を行なう。											
対象者	図書館中央館、三和・夜久野・大江分館の来館者	対象者数	12,000	単位あたりコスト	0.3							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館中央館及び三和・夜久野・大江分館に、アルコール消毒液自動噴霧機を設置し、来館者の感染症予防に努める。 ・中央館「おはなしのへや」に大型空気清浄機を導入し、乳幼児とその保護者等に安心して利用いただける環境を整える。 ・図書館各館での館内設備の消毒作業を継続実施し、館内での感染症予防に努める。 ・カウンターでの利用者対応における相互の感染予防対策として、職員の手袋着用を励行するとともに、飛沫感染防止用カウンターパーテーションを各館に設置している。 (令和3年度より中央館運営事業、分館運営事業(三和、夜久野、大江)へ統合)											
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	0	0	0	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	0	1,168	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
小計(①～③)	0	1,168	0		
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	0	1,168	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	二次公表時記載	0	0
	② 配当予算	0	1,168	0	0
	③ 執行額	0	二次公表時記載	0	0
	④ 執行率	0.0%	二次公表時記載		
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.00 / 0.00	0.40 / 0.34	0.40 / 0.34	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	0	4,050	4,050	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	4,050	4,050	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	年間来館者数(全館)	人	0	0 / 0	152478 / 330000	/	330000
実利用人数	人	0	0 / 0	9852 / 12200	/	12200	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
			0	0 / 0	/ 0	/	0
	単位あたりコスト		0.0	0.0			
			0	0 / 0	/ 0	/	0
	単位あたりコスト		0.0	0.0			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 公立図書館は乳幼児から高齢者まで、住民すべてが情報や知識を得ることのできる必要不可欠な場である。 新型コロナウイルスとの共存、新しい生活様式といわれる中でも、図書館には多くの市民が訪れ居場所となっていることから、市民の豊かな生活を守り、より安心・安全に図書館を利用いただくための様々な感染拡大予防対策の実施は必要不可欠である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 図書館資料や館内設備の消毒作業や設置等を全て職員が行うことで、コスト軽減を図っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年4月18日から5月19日までの臨時休館を余儀なくされ、その後の開館においては、例年に比べ利用人数に大きな落ち込みが見られる。 しかしながら、市民の豊かな生活を守るためには、新型コロナウイルス感染防止対策をしっかりと行った上で、安心・安全な公共施設としての図書館を継続して運営していくことが必要と考える。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> アルコール消毒液自動噴霧機を図書館各館の入口付近等に設置し、来館者の意思で手指消毒を行うことで、感染症予防に対する意識向上に繋がっている。 図書館中央館「おはなしのへや」に設置した業務用空気清浄機により、親子で読みかせをされている姿が次第に戻りつつあることから、利用者の安心感が得られているものとする。 図書館各館で図書館資料や館内設備等について職員による消毒作業を継続実施するとともに、職員の手袋着用の励行、各館カウンターに設置した飛沫感染防止用パーテーション等、様々な方策により、感染症予防に繋がっていると考える。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 図書館中央館及び三和・夜久野・大江分館で実施している様々な新型コロナウイルス感染症予防対策を今後も継続し、来館者の安心安全な利用に努める。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	46 暮らしに読書を、おうえん事業											
事業担当	所属	60050000 教育委員会 図書館						所属長	山路 智子			
会計情報	事業コード	630346	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 図書館費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	020102	施策名	図書館活動を充実させる								
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	第2次福知山市子どもの読書活動推進計画						
根拠法令等	図書館法、福知山市立図書館条例											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
R3現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合											
関連事業	新型コロナ拡大防止事業(図書館)											

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、今後は新しい生活スタイルが求められている。 図書館では小学校・幼稚園・保育園・児童館・放課後児童クラブ・高齢者福祉施設・公民館・自治会のサロン等に図書館資料をセットで貸出しすることで、図書館以外の身近な施設で気軽に本に親しんでもらう機会を提供し、家で過ごす「新しい生活様式」の中に読書を取り入れていただき、豊かな暮らしの実現をサポートする。										
対象者	市内の団体及び市民	対象者数	77,000	単位あたりコスト	0.1						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	・市内の小学校・幼稚園・保育園・児童館・放課後児童クラブ・高齢者福祉施設・公民館・自治会のサロン等の団体に、絵本・児童書・小説・実用書等のテーマごとに50冊セットにした「貸出セット」(74セット)を最大2セット、2か月間貸し出す。 ・特に自分ひとりでは図書館に行くことが難しいお子さんや高齢者の方が、自分の身近な施設で気軽に本を読んだり借りたりできるようになり、外出自粛によるストレスの緩和や心のケアに読書を活用していただける。 (令和3年度より中央館運営事業へ統合)										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容								
	二次公表時記載										

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	0	0	0	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	0	8,863	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
小計(①～③)	0	8,863	0		
予算財源内訳	① 一般財源	0	2,955	0	
	② 国支出金	0	5,908	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	二次公表時記載	0	
	② 配当予算	0	8,863	0	
	③ 執行額	0	二次公表時記載	0	
	④ 執行率	0.0%	二次公表時記載		
人環工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.00 / 0.00	0.58 / 0.36	0.58 / 0.36	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	0	5,540	5,540	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	5,540	5,540	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	貸出セット利用件数	件	0	0 / 0	71 / 70	/	70
貸出セット利用団体数	箇所	0	0 / 0	35 / 50	/	50	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
			0	0 / 0	/ 0	/	0
	単位あたりコスト		0.0	0.0			
			0	0 / 0	/ 0	/	0
	単位あたりコスト		0.0	0.0			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスとの共存、新しい生活様式が求められるなか、自宅で読書を楽しむことにより外出を抑制する効果や図書館への人の密集を抑制する効果が期待できる本事業の優先度は高い。 これまで読書や図書館に興味がなかった方や、ひとりでは図書館に行くことが難しいお子さんや高齢者の方が、自分の身近な施設で気軽に本に親しむことができるようになり、「すべての市民に読書の楽しみを届ける」図書館の使命にも合致する、必要な事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年1月からサービスを開始し、多くの団体に利用してもらっている。 期待される効率性としては、図書館職員があらかじめ選んだ本をセットにして貸し出すことで、(特に子どもが多く利用する)施設の担当者が自分で本を選ぶ時間を短縮できるとともに、施設利用者が図書館以外の場所で様々な本に出会う機会が増える。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 図書館にとっては図書館利用者以外の方にも本を届けることができ、利用施設にとっては図書購入費等が潤沢でない中、様々な本を利用できるという相互にとってメリットのある事業である。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年1月のサービス開始前に関係機関へのチラシの配布や新聞等で周知し、開始直後から多くの問い合わせや貸出しの申し込みを受けた。 セットの数も当初予定していた70セットから4セット増やし、児童向け45セット、大人向け29セットを用意している。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 児童向けのセットについては、低学年向けのセットに人気集中しているため、高学年向けのセットの利用を増やすという課題がある。 実際にセットを利用された団体からは「本が新品できれいすぎて、とても気を遣う」との意見もあり、2回目の貸出しを躊躇される団体もある。 今後により多くの方に利用していただけるよう、引き続き広報に努めていく必要がある。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	08 佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業											
事業担当	所属	60050000 教育委員会 図書館					所属長	山路 智子				
会計情報	事業コード	630308	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 図書館費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	020102	施策名	図書館活動を充実させる								
計画期間	開始年度	平成6年度	終了予定年度	令和7年度	関連計画名	第3次福知山市子どもの読書活動推進計画						
根拠法令等	図書館法、子どもの読書活動の推進に関する法律(平成13年12月12日 法律第154号)											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合											
関連事業	資料収集整理事業、中央館運営事業、分館運営事業(三和・夜久野・大江)											

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	すべての市民に読書の楽しみを届け、学習機会を提供することで、読書活動の普及・図書館活動への理解と利用促進につなげるため、講座・講演会・研修会等の事業を実施する。具体的には、おはなし会や子ども向けのワークショップ、大人向けの読みきかせ等についての講演会やボランティア養成講座を開催することにより読書活動の推進を図る。											
対象者	乳幼児から大人まで					対象者数	77,000		単位あたりコスト	0.1		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	・講座・講演会事業としては、子ども向けには図書館内や出張の各種おはなし会、大人向けには読みきかせのボランティア養成講座や講演会・研修会等を開催する。(令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、多くの事業を休止・中止した) ・平成30年度から所管替えとなったブックスタート事業では、4か月健診時に絵本をプレゼントするとともに、図書館のおはなし会のチラシや利用券交付申請書を配布するなど、図書館利用の促進を図る。(新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年3月よりボランティアによる読みきかせ体験は休止しており、令和3年3月より感染対策に配慮した取組を、ボランティアと計画)											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	1,528	1,325	1,255	予算編成時記入 (3次公表時)	
	② 補正予算	0	0	0		
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0		0
		次年度繰越	0	0		0
	小計(①~③)	1,528	1,325	1,255		
予算財源内訳	① 一般財源	93	92	127		
	② 国支出金	0	0	0		
	③ 府支出金	0	0	0		
	④ 地方債	0	0	0		
	⑤ その他特財	1,435	1,233	1,128		
決算情報	① 流充用額	0	二次公表時記載	0	0	
	② 配当予算	1,528	1,325	0	0	
	③ 執行額	1,095	二次公表時記載	0	0	
	④ 執行率	71.6%	二次公表時記載			
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	1.12 / 1.23	0.76 / 1.05	0.76 / 1.05	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	12,035	8,705	8,705	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	13,130	8,705	8,705	0		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	保護者による10か月児への読みきかせ実施率	%	92/90	94 / 90	— / 90	/ 90	90%以上
	図書館の児童書・絵本貸出冊数	冊	354,151/352,540	332,928 / 371,858	270,762 / 349,574	/ 284,300	前年比5%増
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	おはなし会等実施回数	回	152/180	159 / 180	54 / 180	/ 180	180回
	単位あたりコスト		8.0	6.9			
	単位あたりコスト		0	0 / 0	/ 0	/	0
単位あたりコスト		0.0					

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会等については、民間事業者でも事業者負担で実施することは可能だが、実績は少ない。 ・実績のある講師を招くことで、市民やボランティアの学習機会を確保している。 ・生涯を通じた読書の大切さ、とりわけ乳幼児期の読みきかせの重要性は広く知られるところであり、ブックスタート事業などは特に優先順位が高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	△	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなボランティアを育成し、そのボランティアが図書館や学校・地域で読みきかせをすることにより、読みきかせの裾野を広げ、読書活動の推進に貢献している。 ・読書や読みきかせの啓発は一朝一夕にはいかず、効率的に進められるものでもないためコストの比較は難しいが、工夫しながら事業を実施している。 ・読みきかせやボランティアの裾野を広げるため、参加者からの一定の費用負担は検討していない。また、費用負担がないことで、参加への(経済的・心理的な)ハードルを下げ、参加者が確保できている面もある。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は、事業棚卸しを受けて見直した。 ・令和2年度の活動実績は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う臨時休館、及び密を避けるためのイベント休止等により、予定していたおはなし会等の多くが中止となってしまった。 ・感染防止に努めながら図書館から地域に向い出張おはなし会を行い、これまで図書館に来たことがない人に図書館や読みきかせを知ってもらおうきっかけづくりをしている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> ・指標や「第2次福知山市子どもの読書活動推進計画」に基づき、事業を進めてきた。 ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、乳幼児健診が個別健診に切り替わるなどしたため、4か月健診時のボランティアによる読みきかせや、4か月児・10か月児健診児のアンケート調査が実施できなかった。 ・臨時休館等もあり、館内イベント等についても多くが休止・中止となったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う臨時休校等に対応する支援策として、図書館の児童書や絵本を「緊急貸出セット」として小学校・放課後児童クラブに貸し出した。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校等の臨時休校時に実施した「緊急貸出セット」貸出を、6月補正で「暮らしに読書を、おうえん事業」へとつなげることができた。 ・今後も感染防止に努めながら、利用者に寄り添ったサービスの提供を進めていく。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	07 子どもの読書活動推進計画策定事業												
事業担当	所属	60050000 教育委員会 図書館				所属長	山路 智子						
会計情報	事業コード	630307	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 図書館費	会計	01 一般会計	決算付属資料		頁
施策体系	施策コード	020102	施策名	図書館活動を充実させる									
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	「第2次福知山市子どもの読書活動推進計画」							
根拠法令等	「子どもの読書活動の推進に関する法律」(平成13年12月12日 法律第154号)												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R3現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	中央館運営事業、分館運営事業(三和・夜久野・大江)、資料収集整理事業、佐藤八重子記念子ども読書活動推進事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	平成27年度に策定した「第2次福知山市子どもの読書活動推進計画」(計画期間H28~5年間)の見直し時期が来たため、新たな第3次計画を策定する。											
対象者	市民	対象者数	77,000	単位あたりコスト	0.0							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	・「第3次福知山市子どもの読書活動推進計画」を策定するため、有識者らによる「第3次福知山市子どもの読書活動推進計画」策定委員会を設置、委員会を4回開催し、案を作成した。 ・関係機関へのアンケート調査やパブリックコメントによる市民の意見募集を経て、令和3年2月19日の教育委員会議において、計画が承認された。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	0	129	0	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
	小計(①~③)	0	129	0	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	129	0	
決算情報	① 流充用額	0	二次公表時記載	0	0
	② 配当予算	0	129	0	0
	③ 執行額	0	二次公表時記載	0	0
	④ 執行率	0.0%	二次公表時記載		
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.00 / 0.00	0.22 / 0.00	0.22 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	0	1,760	1,760	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	1,760	1,760	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	第3次計画の策定	式	0	0 / 0	1 / 1	/	1
		0	0	0 / 0	/ 0	/	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	第3次計画策定委員会開催	回	0	0 / 0	4 / 4	/	4
	単位あたりコスト		0.0	0.0			
			0	0 / 0	/ 0	/	0
	単位あたりコスト		0.0	0.0			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・「子どもの読書活動の推進に関する法律」(平成13年12月12日 法律第154号)により、市町村は子ども読書活動推進計画の策定に努めなければならないとされており、必要な事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施に要する消耗品などの経費を中央館運営事業と兼用することにより、必要最低限の予算で事業を実施した。 ・計画を策定することにより、子どもの読書活動推進に必要な関係機関との連携をスムーズに進めることができる。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・計画を策定することにより、子どもの読書活動推進の重要性を関係機関や子どもに携わる人々に効果的に周知・啓発できる。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> ・この事業の目的は、平成27年度に策定した「第2次福知山市子どもの読書活動推進計画」(計画期間H28～5年間)の見直し時期が来たため、新たな第3次計画を策定することである。策定にあたっては、有識者らによる「第3次福知山市子どもの読書活動推進計画」策定委員会を設置・委員会を4回開催し、案を作成した。 ・関係機関へのアンケート調査やパブリックコメントによる市民の意見募集を経て、令和3年2月19日の教育委員会議において、計画が承認され、目的は達成した。今後はこの計画に基づいて、子どもの読書活動を推進する取組を進めていく。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度から5年間「第2次福知山市子どもの読書活動推進計画」に基づき様々な事業を実施してきた。今回新たに策定した「第3次福知山市子どもの読書活動推進計画」でも、福知山市の子どもたちが本と出会い読書の楽しさを体験する機会を上げ、読書をおして学ぶ力・考える力・判断する力を伸ばすとともに、子どもと本をつなぐ人と場を育む取組を進めることを基本方針としている。令和3年度から本計画に基づき、子どもの読書活動を推進する取組を進める。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	06 三和分館空調改修事業												
事業担当	所属	60050000 教育委員会 図書館				所属長	山路 智子						
会計情報	事業コード	630306	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 図書館費	会計	01 一般会計	決算付属資料		頁
施策体系	施策コード	020102	施策名	図書館活動を充実させる									
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R3現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	三和分館運営事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	三和分館の空調設備を取替修繕する。平成30年度に故障し、2基のうち1基は緊急で取替修繕し様子を見ていたが、猛暑日は1基のみでは室内温度が下がらず、冬場の冷え込みにも対応できないため、もう1基も取り替える。										
対象者	福知山市民(在住、在学、在勤)・三たん地域在住者	対象者数	684,000	単位あたりコスト	0.0						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	三和分館の空調設備1基の取替修繕。										
事業概要 (箇条書き)											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容								
	二次公表時記載										

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	0	1,600	0	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
小計(①～③)	0	1,600	0		
予算財源内訳	① 一般財源	0	200	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	1,400	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	二次公表時記載	0	0
	② 配当予算	0	1,600	0	0
	③ 執行額	0	二次公表時記載	0	0
	④ 執行率	0.0%	二次公表時記載		
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.00 / 0.00	0.07 / 0.00	0.07 / 0.00	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	0	560	560	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	560	560	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	三和分館来館者数	人	0	0 / 0	4926 / 5500	/	5500
			0	0 / 0	/ 0	/	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	取り替えた空調設備	基	0	0 / 0	1 / 1	/	1
	単位あたりコスト		0.0	0.0			
			0	0 / 0	/ 0	/	0
	単位あたりコスト		0.0	0.0			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 三和分館の空調設備は平成30年度に故障した。2基のうち1基は緊急で取替修繕し様子を見ていたが、猛暑日は1基のみでは室内温度が下がらず、冬場の冷え込みにも対応できなかったため、もう1基も取り替えたものである。 利用者の読書環境を維持するために必要な事業である。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 今回行った改修は、施設の空調管理に必要最低限の修繕である。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は新型コロナウイルス感染症による臨時休館等により、年間の来館者数は前年度よりも少なくなっている。今後は、密を避け、感染対策を取りながら、利用者に安心して利用していただけるよう運営していく。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<ul style="list-style-type: none"> この事業の目的は三和分館の空調設備1基の取替修繕であり、目標は達成した。 		
これまでの課題及び今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 環境が改善した三和分館に来館者を呼び込めるよう、引き続き様々な取組を進めていく。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	05 大江分館運営事業												
事業担当	所属	60050000 教育委員会 図書館				所属長	山路 智子						
会計情報	事業コード	630305	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 図書館費	会計	01 一般会計	決算付属資料		頁
施策体系	施策コード	020102	施策名	図書館活動を充実させる									
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和7年度	関連計画名	第3次福知山市子どもの読書活動推進計画							
根拠法令等	図書館法、福知山市立図書館条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	資料収集整理事業、中央館運営事業、分館運営事業(三和・夜久野)、佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業、暮らしに読書を、おうえん事業、新型コロナウイルス感染症拡大防止事業(図書館)												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	公立図書館として、図書館大江分館において安定した図書館サービスを提供し、市民にとって地域の情報収集や知識習得の場として、魅力ある図書館として運営していくことを目的とする。											
対象者	福知山市(在住、在学、在勤)・三たん地域在住者				対象者数	684,000		単位あたりコスト	0.0			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	図書館サービスの充実・向上を目指し、利用者がよりよく課題を解決するための利用や、主体的な学習活動・読書活動の充実を図るため、利用者ニーズの把握や利用環境の整備に努める。より多くの方に利用していただくため、積極的な情報提供・情報発信や啓発を行うとともに、関係機関・関係団体と連携し、地域の拠点施設としての図書館サービスの拡充を図る。											
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	2,066	2,149	2,119	予算編成時記入 (3次公表時)	
	② 補正予算	0	0	0		
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0		0
		次年度繰越	0	0		0
	小計(①~③)	2,066	2,149	2,119		
予算財源内訳	① 一般財源	2,066	2,149	2,119		
	② 国支出金	0	0	0		
	③ 府支出金	0	0	0		
	④ 地方債	0	0	0		
	⑤ その他特財	0	0	0		
決算情報	① 流充用額	28	二次公表時記載	0	0	
	② 配当予算	2,094	2,149	0	0	
	③ 執行額	2,094	二次公表時記載	0	0	
	④ 執行率	100.0%	二次公表時記載			
人機工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.06 / 0.75	0.12 / 0.70	0.12 / 0.70	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	2,355	2,710	2,710	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,449	2,710	2,710	0		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	年間来館者数	人	5,126/7,700	7229 / 7700	5469 / 7700	/ 7700	7700
			0	0 / 0	/ 0	/	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	年間資料貸出冊数	冊	13,785/20,000	19287 / 20000	19245 / 20000	/ 20000	20000
	単位あたりコスト		0.2	0.1			
			0	0 / 0	/ 0	/	0
	単位あたりコスト		0.0				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 公立図書館は乳幼児から高齢者まで、住民すべてが情報や知識を得ることのできる必要不可欠な場である。 福知山市民だけでなく、三たん地域の利用者は増加傾向にある。 バリアフリー資料、障害のある人への読書支援の充実、地域の特色を活かした図書館の運営は、民間業者では難しい。 高齢化が進む中、地域の図書館としての存在意義は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 市民の人口に比較して、図書館登録・利用者の割合がもっと増えることが望ましい。 中央館・三和分館・夜久野分館や京都府内の図書館と連携し、本を流通させて有効活用している。 地域の行政防災無線を積極的に活用し、図書館イベントや新刊図書のPRなど地域住民への広報を効率よく行っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、来館者数・貸出冊数とも前年を下回っている。 さらに新たな利用者を図書館に呼び込むため継続的な取組が必要。 浸水被害対策のため、平成31年4月に大江総合会館2階に移転しリニューアルオープンをして以降、書架を増設するなど、魅力ある図書館運営に努めている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	地域の情報収集や知識習得の場として、大江分館は欠かせないものであり、これまで以上に、分館の特色を活かした図書館づくりを進めるとともに、利用者にとってよりよい図書館となるよう、利用者ニーズに応じていくことが大切であるとする。		
これまでの課題及び今後の方向性	平成30年度に浸水被害を被り、翌年度から2階に場所を移し、浸水の恐れはなくなったが、以前よりも手狭でスペースも限られており、より多くの利用者に来館いただくために、特集展示やそれに合わせた情報発信など、見せ方などを工夫する必要がある。他部署や各種団体と連携して各種イベント等に出向くなど、これまで以上に、分館の特色を生かした図書館づくりなど分館の利用促進に向けてPRを強化し、読書活動の推進を図る。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	04 夜久野分館運営事業												
事業担当	所属	60050000 教育委員会 図書館				所属長	山路 智子						
会計情報	事業コード	630304	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 図書館費	会計	01 一般会計	決算付属資料		頁
施策体系	施策コード	020102	施策名	図書館活動を充実させる									
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和7年度	関連計画名	第3次福知山市子どもの読書活動推進計画							
根拠法令等	図書館法、福知山市立図書館条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	資料収集整理事業、中央館運営事業、分館運営事業(三和・大江)、佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業、暮らしに読書をおうえん事業、新型コロナウイルス感染症拡大防止事業(図書館)												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	公立図書館として、図書館夜久野分館において安定した図書館サービスを提供し、市民にとって地域の情報収集や知識習得の場として、魅力ある図書館として運営していくことを目的とする。											
対象者	福知山市民(在住、在学、在勤)・三たん地域在住者	対象者数	684,000	単位あたりコスト	0.0							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	図書館サービスの充実・向上を目指し、利用者がよりよく課題を解決するための利用や、主体的な学習活動・読書活動の充実を図るため、利用者ニーズの把握や利用環境の整備に努める。より多くの方に利用していただくため、積極的な情報提供・情報発信や啓発を行うとともに、関係機関・関係団体と連携し、地域の拠点施設としての図書館サービスの拡充を図る。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	3,798	3,719	3,643	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
小計(①～③)	3,798	3,719	3,643		
予算財源内訳	① 一般財源	3,798	3,719	3,643	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 15	二次公表時記載	0	0
	② 配当予算	3,783	3,719	0	0
	③ 執行額	3,782	二次公表時記載	0	0
	④ 執行率	100.0%	二次公表時記載		
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.08 / 0.75	0.07 / 0.70	0.07 / 0.70	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	2,515	2,310	2,310	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	6,297	2,310	2,310	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	年間来館者数	人	13,179/14,500	12210 / 14500	8148 / 14500	/ 14500	14500
			0	0 / 0	/ 0	/	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	年間資料貸出冊数	冊	24,640/26,000	25604 / 26000	20457 / 26000	/ 26000	26000
	単位あたりコスト		0.2	0.1			
			0	0 / 0	/ 0	/	0
	単位あたりコスト		0.0				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 公立図書館は乳幼児から高齢者まで、住民すべてが情報や知識を得ることのできる必要不可欠な場である。 福知山市民だけでなく、三たん地域の利用者のニーズは増加傾向にある。 バリアフリー資料、障がいのある人への読書支援の充実、地域の特色を生かした図書館の運営は、民間業者では厳しい。 高齢化が進む中、地域の図書館としての存在意義は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 市民の図書館登録・利用者の割合が増えることが望ましい。 中央館・三和分館・大江分館や京都府内の図書館と連携し、本を流通させて有効活用している。 地域の行政防災無線を活用し、図書館イベントや特集展示など、地域住民への広報を効率よく行っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、来館者数・貸出冊数とも前年を下回っている。 さらに新たな利用者を図書館に呼び込むため継続的な取り組みが必要。 新年特別企画である「本の福袋」の貸出しなど、今後も地域住民に興味を持ってもらえるよう、分館独自の取組を進めていく。 「おはなし会スペシャル」や「大人のためのおはなし会」の実施にあたっては、ボランティア団体の協力を得ている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	地域の情報収集や知識習得の場として、夜久野分館は欠かせないものであり、今後も引き続き、分館の特色を生かした図書館づくりを進めるとともに、利用者にとってよりよい図書館となるよう、利用者ニーズを把握し、それに応えていくことが大切であると考えている。		
これまでの課題及び今後の方向性	夜久野分館独自のイベントである「本の福袋」や「大人のためのおはなし会」は好評であり、一定の集客効果が得られているため継続実施する。より多くの利用者に来館いただき、利用者1人あたりの貸出冊数を増加するために、利用者の興味を引きつけるための特集展示を行うなど、さらに具体的な方策を検討し実施する。 他部署や各種団体と連携して各種イベント等に出向くなど、分館の利用促進に向けてPRを強化し、読書活動の推進を図る。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	03 三和分館運営事業												
事業担当	所属	60050000 教育委員会 図書館				所属長	山路 智子						
会計情報	事業コード	630303	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 図書館費	会計	01 一般会計	決算付属資料		頁
施策体系	施策コード	020102	施策名	図書館活動を充実させる									
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和7年度	関連計画名	第3次福知山市子どもの読書活動推進計画							
根拠法令等	図書館法、福知山市立図書館条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()												
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	資料収集整理事業、中央館運営事業、分館運営事業(夜久野・大江)、佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業、三和分館空調改修事業、暮らしに読書を、おうえん事業、新型コロナウイルス感染拡大防止事業(図書館)												

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	公立図書館として、図書館三和分館において安定した図書館サービスを提供し、市民にとって地域の情報収集や知識習得の場として、魅力ある図書館として運営していくことを目的とする。											
対象者	福知山市民(在住、在学、在勤)・三たん地域在住者			対象者数	684,000		単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	図書館サービスの充実・向上を目指し、利用者がよりよく課題を解決するための利用や、主体的な学習活動・読書活動の充実を図るため、利用者ニーズの把握や利用環境の整備に努める。より多くの方に利用していただくため、積極的な情報提供・情報発信や啓発を行うとともに、関係機関・関係団体と連携し、地域の拠点施設としての図書館サービスの拡充を図る。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	2,062	2,161	2,114	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
小計(①～③)	2,062	2,161	2,114		
予算財源内訳	① 一般財源	2,062	2,161	2,114	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 99	二次公表時記載	0	0
	② 配当予算	1,963	2,161	0	0
	③ 執行額	1,961	二次公表時記載	0	0
	④ 執行率	99.9%	二次公表時記載		
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	0.08 / 0.75	0.12 / 0.70	0.12 / 0.70	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	2,515	2,710	2,710	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,476	2,710	2,710	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	年間来館者数	人	5,600/5,500	6358 / 5500	4926 / 5500	/ 5500	5500
			0	0 / 0	/ 0	/	0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	年間資料貸出冊数	冊	15,018/15,000	16089 / 15000	14927 / 15000	/ 15000	15000
	単位あたりコスト		0.2	0.1			
			0	0 / 0	/ 0	/	0
	単位あたりコスト		0.0				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 公立図書館は乳幼児から高齢者まで、住民すべてが情報や知識を得ることのできる必要不可欠な場である。 福知山市民だけでなく、三たん地域の利用者のニーズは増加傾向にある。 バリアフリー資料、障がいのある人への読書支援の充実、地域の特色を生かした図書館の運営は、民間業者では厳しい。 高齢化が進む中、地域の図書館としての存在意義は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 市民の図書館登録・利用者の割合が増えることが望ましい。 中央館・夜久野分館・大江分館や京都府内の図書館と連携し、本を流通させて有効活用している。 地域の行政防災無線や三和地域協議会広報誌を活用し、図書館イベントや新刊案内など、地域住民への広報を効率よく行っている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、来館者数・貸出冊数とも前年を下回っている。 さらに新たな利用者を図書館に呼び込むため継続的な取組が必要。 夏休みに初めて実施した「よむよむビンゴ！」など、今後も地域住民に興味を持ってもらえる取組を進めていく。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>地域の情報収集や知識習得の場として三和分館は欠かせないものであり、今後も引き続き、分館の特色を生かした図書館づくりを進めるとともに、利用者にとってよりよい図書館となるよう、利用者ニーズを把握しそれに応えていくことが大切であると考えている。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>三和保育園の園児が散歩の途中で本を借りに来館してくれている。また、菟原児童館で大人向けの出張おはなし会を行うなど、コロナ禍ではあるが新たな取組も実施した。今後も分館ならではの地域のニーズに応える取組を進めていく。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	02 中央館運営事業											
事業担当	所属	60050000 教育委員会 図書館					所属長	山路 智子				
会計情報	事業コード	630302	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 図書館費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	020102	施策名	図書館活動を充実させる								
計画期間	開始年度	昭和21年度	終了予定年度	令和7年度	関連計画名	第3次福知山市子どもの読書活動推進計画						
根拠法令等	図書館法、福知山市立図書館条例											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合											
関連事業	資料収集整理事業、分館運営事業(三和・夜久野・大江)、佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業、暮らしに読書を、おうえん事業、新型コロナウイルス感染拡大防止事業(図書館)											

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	公立図書館として、図書館中央館において安定した図書館サービスを提供し、市民にとって地域の情報収集や知識習得の場として、魅力ある図書館として運営していくことを目的とする。										
対象者	福知山市民(在住、在学、在勤)・三たん地域在住者	対象者数	684,000	単位あたりコスト	0.0						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	(社)福知山市シルバー人材センター、NECネクサソリューションズ(株)関西支社、日本ファイリング(株)大阪支店										
事業概要 (箇条書き)	・図書館機能を充実し、利用者がよりよく課題を解決するための利用や、主体的な学習活動・読書活動の充実を図るため、積極的な情報提供・情報発信や啓発を行うとともに、利用者ニーズの把握や利用環境の整備に努める。 ・関係機関・関係団体と連携し、北近畿の中核となる図書館サービスの拡充を図る。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容								
	二次公表時記載										

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	37,105	38,018	37,477	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
	小計(①～③)	37,105	38,018	37,477	
予算財源内訳	① 一般財源	36,938	37,851	37,310	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	167	167	167	
決算情報	① 流充用額	62	二次公表時記載	0	0
	② 配当予算	37,167	38,018	0	0
	③ 執行額	37,047	二次公表時記載	0	0
	④ 執行率	99.7%	二次公表時記載		
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	4.21 / 2.29	3.43 / 2.06	3.43 / 2.06	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	39,405	32,590	32,590	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	76,452	32,590	32,590	0	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	年間来館者数	人	229,587/302,300	204943 / 302300	133935 / 302300	/ 302300	302300
実利用人数(貸出人数)	人	12,375/12,200	12336 / 12200	9852 / 12200	/ 12200	12200	12200
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標
	年間資料貸出冊数	冊	579,966/539,000	534875 / 539000	444049 / 539000	/ 539000	539000
	単位あたりコスト		0.1	0.1			
			0	0 / 0	/ 0	/	0
単位あたりコスト		0.0					

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	<ul style="list-style-type: none"> 公立図書館は乳幼児から高齢者まで、住民すべてが情報や知識を得ることのできる必要不可欠な場である。 福知山市民だけでなく、三たん地域の利用者のニーズは増加傾向にある。 バリアフリー資料、障がいのある人への読書支援の充実は、民間業者では厳しい。 令和元年9月に実施した図書館利用者アンケートでは、総合的に利用者満足度は高く、一定の評価が得られた。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 市民の図書館登録・利用者の割合が増えることが望ましい。 分館や京都府内の図書館と連携し、本を流通させて有効活用している。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	<ul style="list-style-type: none"> 新中央館の新館効果が薄れて定着期に入ったことや、新型コロナウイルス感染予防のため来館を控える利用者がおられることから、各指標の実績は、前年度を下回っている。 新たな利用者を図書館に呼び込むための様々な取り組みや広報を実施し、一定の成果を上げている。今後においても継続的な取り組みを行う。 各種イベントや企画展示等の連携事業の実施にあたっては、市の各部署や福知山公立大学、他市図書館のほか、各種団体や個人の協力を得ている。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>地域の情報収集や知識習得の場として中央館は欠かせないものであり、今後も引き続き、特色のある図書館づくりを進めるとともに、利用者にとってよりよい図書館となるよう、利用者ニーズを把握しそれに応えていくことが大切であるとする。また、福知山公立大学、北部7市町図書館、丹波市・朝来市との3市図書館連携、福知山産業支援センターや北京都ジョブパーク等の外部機関との連携による利用者サービスの充実が評価できるものである。さらに、新たな利用者を図書館に呼び込むための様々な取り組みの実施と広報により、図書館の認知を広めていることは評価できる。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>住民の知る自由を保障することは、公立図書館の重要な責務である。この責務を果たすため、職員研修を定期的に行うとともに、外部研修を受講することで専門性を高め、地域の情報ステーションとして質の高い図書館サービスを提供する。図書館利用者増加に向けて、新規利用者を図書館に呼び込むための新たな取組の実施と情報発信を、今後も継続実施する。令和2年度に開始した「新しいバリアフリーサービス」や、「暮らしに読書を、おうえん貸出セット」の運用を軌道に乗せるとともに、利用者にとってよりよい図書館となるよう、利用者のニーズに寄り添ったサービスの展開や、課題解決につなげるための方策についての検討が必要である。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和3年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	01 資料収集整理事業											
事業担当	所属	60050000 教育委員会 図書館						所属長	山路 智子			
会計情報	事業コード	630301	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 図書館費	会計	01 一般会計	決算付属資料	頁
施策体系	施策コード	020102	施策名	図書館活動を充実させる								
計画期間	開始年度	昭和21年度	終了予定年度	令和7年度	関連計画名	第3次福知山市子どもの読書活動推進計画						
根拠法令等	図書館法、福知山市立図書館条例											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
R3現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合											
関連事業	中央館運営事業、分館運営事業(三和・夜久野・大江)、佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	資料の収集は図書館の根幹であり、資料収集方針に則り、幅広い分野から計画的に図書を購入・所蔵し、利用者の学習意欲や知る権利を満たす。特に子どもの読書活動推進計画に沿って、絵本や児童書を充実させ子どもたちがより読書に親しめる環境づくりを促進する。郷土資料など地域の情報を整理保存して「地域の情報ステーション」となるとともに、通勤・通学・商業の拠点として三たん地域の住民の需要に応える蔵書を確保し、図書館利用による集客を促進する。											
対象者	福知山市民(在住、在学、在勤)・三たん地域在住者						対象者数	684,000		単位あたりコスト	0.0	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	株式会社図書館流通センター											
事業概要 (箇条書き)	・中央館及び三和・夜久野・大江分館の地域に根ざした特色ある図書館づくりを進めるため、地域の情報、保存すべき資料、閲覧・貸出ニーズの高い資料を中心に、幅広い分野から計画的に図書を購入・所蔵する。 ・所蔵資料を検索・閲覧・貸出可能な有用な状態に整理する(ICタグにより電子情報と結び付ける)。 ・利用者が望む資料にたどり着けるよう、展示方法を工夫し、案内し、調査の支援を行う。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R2)	主な業務内容									
	二次公表時記載											

III 予算執行状況

区分	R1(評価前年度)	R2(評価年度)	R3(本年度)	R4(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	23,368	19,898	19,539	予算編成時記入 (3次公表時)	
	② 補正予算	0	0	0		
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0		0
		次年度繰越	0	0		0
	小計(①～③)	23,368	19,898	19,539		
予算財源内訳	① 一般財源	13,703	14,198	13,839		
	② 国支出金	0	0	0		
	③ 府支出金	0	0	0		
	④ 地方債	0	0	0		
	⑤ その他特財	9,665	5,700	5,700		
決算情報	① 流充用額	0	二次公表時記載	0	0	
	② 配当予算	23,368	19,898	0	0	
	③ 執行額	23,178	二次公表時記載	0	0	
	④ 執行率	99.2%	二次公表時記載			
人概工算	① 従事職員数 (正職員・嘱託職員)	1.09 / 2.20	1.07 / 2.09	1.07 / 2.09	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	14,220	13,785	13,785	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	37,398	13,785	13,785	0		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標	
	年間来館者数(全館)	人	253,492/330,000	230740 / 330000	152478 / 330000	/	330000	330000
実利用人数(貸出人数)	人	12,375/12,200	12336 / 12200	9852 / 12200	/	12200	12200	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H30	R1	R2	R3	最終目標	
	年間資料貸出冊数(全館)	冊	633,409/600,000	595855 / 600000	498678 / 600000	/	600000	600000
	単位あたりコスト		0.0	0.0				
	蔵書点数(全館 寄贈受入含む)	点	308,411/297,000	316868 / 315000	320000 / 315000	/	315000	315000
単位あたりコスト		0.1	0.1					

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○	情報収集・発信の役割及び様々な資料の保存場所として、長年にわたり市民や社会のニーズに应运えてきており、今後も豊富な資料を備えて、その役割を果たすことは必要である。より魅力的な図書館を目指すために、新鮮で豊富な資料が必要であり、蔵書や利用の状況を見ながら計画的に収集していくことで、多くの市民に利用いただけるものとする。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○	図書購入は、毎年入札により契約しており、最も効率よく低コストで購入できている。図書の新規購入以外に、市内の分館や京都府内の図書館との相互貸借制度を活用し、本を相互に流通させて有効活用している。利用促進に向けて、タイムリーな話題や工夫を凝らした特集展示を実施している。特集展示などについて、新聞社へ積極的に広報を行い、効率的に図書資料のアピールを進めることができた。庁内・庁外の機関と連携した各種展示を図書館内で行うことにより、図書館利用者数の増加を図った。雑誌スポンサー制度の導入により、前年を上回る雑誌の寄贈を受け、コスト削減ができた。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○	新型コロナウイルス感染拡大を受け、臨時休館やおはなし会などのイベント自粛により、成果目標の達成は困難な状況にある。そのような中でも『暮らしに読書を、おうえん貸出セット』や『図書館資料宅配サービス』などの新たなサービスを開始した。今後も新たな利用者を図書館に呼び込むための手法の検討や情報発信などを継続して行う。雑誌スポンサー制度の導入や他部署との連携を進めており、今後も外部資源の活用を行う。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>本事業は図書館の本質にかかわる事業であり、蔵書の充実度や構成は指標(来館者数・貸出冊数)に確実に影響する。しかし影響は即座に現れず数年程度の遅れがあると思われる。新中央館の新館効果と書架の大幅な拡大により利用者が増えたが、現在は毎年減少傾向にある。また、今年度は新型コロナウイルス感染拡大を受け、臨時休館やおはなし会などのイベント自粛により、成果目標の達成は困難な状況にある。そのような中でも『暮らしに読書を、おうえん貸出セット』や『図書館資料宅配サービス』などの新たなサービスを開始した。利用者を増やすためには対策が必要であり、利用促進に向けた、タイムリーな話題や工夫を凝らした毎月の特集展示の実施、それに伴う情報発信の強化は評価できる。</p> <p>さらに、三たん地域の住民による利用者も多く、通勤・通学・買い物で本市を訪れる方の集客に一定の効果が認められる。雑誌スポンサーからの雑誌の提供が、90誌・約90万円の費用削減につながることは評価できる。全国有数の明智光秀関連資料の充実やバリアフリー資料を購入・強化し、誰もが等しく読書に親しめる環境整備が整えられたことは評価できる。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>新規利用者及び図書館への来館者が増えるよう、市内各種イベントと連携した企画、展示などに更に取り組み、情報発信に継続して取り組む。さらに、有用で保存価値のある資料、地域や世の中の流れに沿ったニーズの高い資料をタイムリーに提供するなど、利用者の多様なニーズに応える蔵書を構成する。</p> <p>今後も明智光秀関連資料やバリアフリーサービスの充実、郷土資料を魅力的に収集・整理し、地域情報の拠点として機能を強化する。来館者が適切な資料を探し当てられるよう、レファレンス機能の充実など職員の資質向上に努め、お客様サービスの向上を図る。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--